

フードロス・チャレンジ・プロジェクト の取り組み

フードロスは食べ物が流れてくる全ての段階で、様々な人々を巻き込んで起きている、とても複雑な問題。まずはその現状を見て、感じて、問題のおこる背景やシステムを考えました。

ラーニング・ジャーニーを終えて確認したのは、フードロスがおこる背景として、「つながりと循環」が失われつつあるという現状でした。人と人とのつながりを回復して、食べ物に関わる様々な立場の人々を互いに理解すること。資源をぐるぐる循環させ、永く健やかに続く社会の仕組みをつくること。そんなビジョンを掲げながら、フードロス・チャレンジ・プロジェクトは、次の二つを中心に活動しています。

1

「フードロス」に関する情報交換、対話の場をつくること（シンポジウム、ワークショップなど）

2

「フードロス」問題を市民が主体的に学び、関わり、解決に向けた行動を広げるきっかけとなるような企画を提供すること

2012年12月 フードロス・チャレンジ・プロジェクト発足
国連専門機関スタッフ、NGO、民間企業、大学などが集まって発足！

2013年1月 キックオフ・シンポジウム
「フードロス」という言葉がまだ普及していなかった日本で、最初の発信をしました。

2013年2月～2013年3月 ラーニング・ジャーニー企画実施（2ヶ月間）
民間企業4社を中心に、一般市民やNGOスタッフ、ライフオーガナイザーなどマルチステークホルダーで、食のサプライチェーンを巡る旅へ、生産から消費まで、それぞれの現場で取り組まれている、フードロス先進事例を学びました。
【パートナー】 味の素、モス・フードサービス、ニチレイフーズ、東芝テック

2013年7月 サルベージ・パーティ®開始
2015年にはグッドデザイン賞を受賞したサルベージ・パーティ®。第一回目は、明るい日の差し込む渋谷のキッチンスタジオで開催されました。

2013年9月 ごちそうとぼうさい開始
都内で第一回目を開催。現在では被災地の防災訓練や地域コミュニティ作り等、多様な目的にあわせてお届けしています。

2013年10月 フードロス・チャレンジ・シンポジウム2013
「世界食料デー」がある10月に開催された、二回目のシンポジウム。ゲストのお話からレゴを使ったワークショップまで、参加者の熱気に溢れる半日でした。

2013年11月 【コミュニティ・ワークショップ1】
いただきますの日“フューチャーセッション”ワークショップ
「食の循環、食の未来」をテーマに、生産者や食品メーカー、流通、飲食店など、サプライチェーンの様々な段階から集まった人々と、未来もおいしく食べるため今やっておきたいこと、考えておきたいことについて、対話を深めました。
【パートナー】 アサヒグループ

2014年1月 【コミュニティ・ワークショップ2】
政策立案と企業・NGOの関わりについて
社会をより持続可能なものとするためのルール形成（政策提言）において、企業とNGOはどのように連携できるのか、専門家の講演に続くプロトタイプワークショップで考えました。参加者からは、普段接点の少ない企業とNGOが顔合わせて互いを理解する良い機会だったとのコメントも。

2014年3月 【コミュニティ・ワークショップ3】
食品企業×IT×デザインによる事業アイデアを考えるワークショップ
「フードロスが生む外部不経済性を脱却する事業モデル」をテーマに、食産業の洞察を持つスペシャリストと、解決方法を形にできる技術者およびデザイナーが集まり、ビジネス・ハッカソンを行いました。

2014年10月 フードロス・チャレンジ・シンポジウム2014
三回目となるシンポジウムでは、東京農業大学を舞台に、一度に複数のワークショップを開催。乾物から学ぶフードロス対策から、体験型ゲーム教材「もったいない鬼ごっこ」のデモ体験まで、参加型の企画が並びました。

2015年1月 体験型ゲーム教材「もったいない鬼ごっこ」完成
フードロスが起こる様子を、生産から消費までの道のりを食べ物になりきって辿ることで学ぶ、ゲーム教材。完成以来、小学校の授業や子ども向けの課外活動などで活用されている教材です。
【パートナー】 ハウス食品

2015年9月 東京都環境局「持続可能な資源利用に向けたモデル事業」採択
プロジェクトで初めて、自治体（東京都）と連携した事業を開始しました（～2016年2月）。フードロスの取り組みを、より多くの都民の皆様にお届けします。
【パートナー】 東京都環境局

2016年2月 フードロス・チャレンジ・フェス！
フードロス・チャレンジ・プロジェクト初の、親子向けイベント！これまでにプロジェクトから産まれた三つの企画（サルベージ・パーティ®、もったいない鬼ごっこ、ごちそうとぼうさい）に加えて、新企画「フードレスキュー」もお披露目します！